



職業奉仕・米山月間

Governor's Message

職業奉仕こそが原点

国際ロータリー第2750地区 2011-12年度 ガバナー 片倉 章雄



1999-00年度にガバナーを務めた小林禮次郎氏が、脳梗塞のため8月13日にお亡くなりになりました。お話が上手で、人を引きつける魅力をお持ちの方で、私は名ガバナーの一人だったと思っています。まだまだ地区のためにご活躍いただきたいと考えていただけに、残念でなりません。心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、10月は職業奉仕、米山月間です。特に職業奉仕はロータリーの発足に関わる重要な概念です。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と「Service, Above Self(超我の奉仕)」という標語は職業奉仕の指針としてよく引用されますが、私もこの理念こそロータリーの存在意義であり、RI会長のメッセージはこれを補う副題としてとらえてもいいのではないかと考えています。

今年度の地区強調事項でも「職業奉仕の理念を基盤として五大奉仕活動の推進」を掲げています。五大奉仕とはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕の五つですが、私は昨今の社会情勢を考えると、職業奉仕こそ礎と

して実践すべきであろうと思っています。私たちロータリアンは職業人として、あるいは経済活動のリーダーとして、それぞれの職業を通じて技能と専門知識を提供しながら、関わる人々に意欲と感動を与えて行こうではありませんか。

話は変わりますが、ガバナー会で東日本大震災に対する義援金の取り扱いがほぼ決まりました。義援金の一部はすでに被災地の地区に配っております。しかし、残金の約8億8000万円につきましては様々な案があり、ひとつの意見に集約できませんでした。奨学金に賛成する地区の義援金は災害復興対策委員会にお任せしますし、地区独自に支援活動行いたい地区は、出資比率に応じて地区に返すことになりました。詳しくは次号でご報告できることと思っています。

なお、このほどパスト・ガバナーの市川伊三夫さんがRI会員増強・維持委員会委員に選任されました。世界で8人しかいないという大役ですが、今後の会員増強や退会防止、さらには若年層の開発によるロータリークラブ活動の活性化等を考えることが主な役割です。ロータリアンの数は世界的には増えていますが、日本、アメリカ、イギリス等では日々会員数が減少しています。市川さんのご活躍に期待しております。

INDEX ※ [3]～[14] は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

- | | | |
|--|--|--|
| [1] ガバナーメッセージ | [6] 多摩南グループ 活動通信 | [12] 委員会紹介
(環境保全委員会／国際人道支援委員会) |
| [2] 「ICU東ヶ崎潔記念ダイアログハウス
建設支援募金推進委員会」の活動 | [7] PBGグループ 活動通信 | [13] 委員会紹介
(国際友愛委員会／米山選考委員会) |
| [3] 地区行事日程 | [9] 会員基盤委員会 活動通信 | [14] 委員会紹介
(米山増進委員会／米山学友委員会) |
| [4] 千代田グループ 活動通信 | [9] 奉仕プログラム委員会 活動通信 | [15] 寄付報告／文庫通信／物故 |
| [5] 山の手東グループ 活動通信 | [10] 米山記念奨学委員会 活動通信 | [16] 出席報告／編集後記 |
| | [11] 委員会紹介
(インターンシップ委員会／地域社会奉仕委員会) | |

「ICU東ヶ崎潔記念ダイアログハウス建設支援募金推進委員会」の活動

ICU東ヶ崎潔記念ダイアログハウス建設支援募金推進委員会 委員 鈴木 隆志（東京西RC）

経緯

当地区内にある、国際基督教大学(ICU)はロータリー財団の重要プログラム「ロータリー平和フェロシッププログラム」の全世界での活動拠点6大学の一つであり、特にアジアで唯一のセンターとして重要な任務を遂行し、将来にわたって大きな貢献が期待されている大学です。そのICU 献学60周年に当り、多くの人々の対話の場として「東ヶ崎潔記念ダイアログハウス」が完成致しました。

このハウスは国際会議室・宿泊施設が整えられており、ICUと世界平和を希求するロータリーの諸活動に大きく寄与するものと考えられます。

そして、冠名にある「東ヶ崎潔氏」はわが国初のRI会長として活躍され、戦前から世界平和のため尽力された方であります。この名を国際的な交流・対話の場に明記し多くの方々の記憶に留めることは、わが国ロータリーにとって極めて有意義なことと思われまふ。

委員会発足

そこで、このダイアログハウス発足に際し、ロータリーとICUの将来の緊密な関係を考え、わが国全地区の2009-10年度ガバナーが参集し「日本におけるロータリーセンターを支援する委員会」を組成、全国ロータリークラブに募金を呼びかけることとなりました。

当地区といたしましては、ロータリーセンターのこれまで、将来、の寄与、当地区との密接な関係等々を考え、積極的にこれに協力することとし、2010年から2～3年間の委員会として「ICU東ヶ崎潔記念ダイアログハウス建設支援募金推進委員会」が組織されました。

当委員会では、この活動をダイアログハウス建設の為の募金と狭義的に考えてはおりません。ICUは今まで、そしてこれからも「ロータリー平和フェロシッププログラム」の活動の主軸となっており、その支援と考えております。

ICUについて

毎年6月に行われますロータリー平和フェロシップの研究発表会には、委員も出席しました。学生達の平和への願い、研究そしてその行動は素晴らしいものです。是非、この活動へのご理解をお願いいたしたく存じます。

大学側ではこのハウスによってロータリーとの連携が更に明確になることを考慮し、会館入口にロータリーのロゴマークを掲示するほか、将来の国際的な交流の場としてロータリー側の活用を適宜認めることなどを明示しておられます。

募金の計画

第2750地区としては、ICUが当地区東京にあるという中心的な立場を考慮して、次の通り計画致しました。

■当地区募金目標金額：総額15,000千円

- ①この寄付は、各クラブのご判断でお願いするものですが、出来るだけ全クラブにご賛同願えれば有難いと思っております。ご検討の際、全国の目標総額を踏まえ、3,000円以上を目途ということで、参考にして願出出来ればと思っております。
- ②クラブとしておまとめ頂く場合、1回にでも、回数をお分け頂いても結構です。
- ③ロータリアン個人としてのご寄付の場合、「指定寄付」として所得控除の対象となっております。

募金の方法

募金は、地区ではなく学校法人国際基督教大学に直接お振込み頂きます。お振り込みの際はガバナー事務所にもご一報下さい。

施設利用について

ICU側からこの寄付に関連しての表明を一部ご紹介いたします。

◆ロータリーの例会、その他の集会で割引金額で会議室の利用が可能です。

◆ICU行事への招待の際、並びにロータリー平和センター関連行事の際、遠方からのロータリアン滞在のためにダイアログハウスの研究者寮利用が可能です。

*ダイアログハウスの利用についてのお問い合わせはICUになります。

募金推進委員会

この募金運動を推進するため、当委員会ではDVD(画像)を作成中です。またグループ協議会を通じ皆様にご理解頂きたいと考えております。ご質問あれば各委員にお尋ね下さい。よろしくご協力の程お願い致します。



2011-12年度 地区行事日程 (10-11月)

10月 3日 (月)	9:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (中央新・築地・中央)	帝国ホテル
10月 4日 (火)	11:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (原宿)	グランドアーク半蔵門
10月 4日 (火)	15:00 ~ 17:00	第二回 ガバナー補佐研修会	黒龍芝公園ビル9階
10月 4日 (火)		RLI Part I	国立オリンピック記念青少年総合センター
10月 5日 (水)	10:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (国立・国立白うめ)	谷保天満宮社務所2階
10月 6日 (木)	11:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (山の手)	ザ・キャピトルホテル東急
10月 7日 (金)	10:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (品川中央・田園調布)	大森東急イン
10月11日 (火)	15:20 ~ 19:30	ガバナー公式訪問 (杉並・城西・西南) (夜)	ホテルニューオータニ
10月12日 (水)	10:00 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (小金井さくら・小金井)	多摩信用金庫・小金井支店
10月12日 (水)	15:00 ~ 17:00	地区役員会 (10/27に変更)	ガバナー事務所
10月12日 (水)	15:00 ~ 17:00	第2回 米山カウンセラー・セミナー	京王プラザH
10月13日 (木)	10:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (昭島・昭島中央)	フォレスト・イン昭和館
10月14日 (金)	10:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (銀座新・銀座)	コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
10月14日 (金)	18:30 ~ 21:00	国際親善派遣奨学候補生オリエンテーション	アイビーホール (青学会館)
10月17日 (月)	10:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (日本橋東・シティ日本橋)	ロイヤルパークホテル
10月18日 (火)	11:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (世田谷南)	セルリアンタワー東急ホテル
10月19日 (水)		ガバナー公式訪問 (たまがわ・狛江) (夜)	
10月20日 (木)		ガバナー公式訪問 (大森・羽田)	
10月21日 (金)	10:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (八王子西・八王子南)	京王プラザホテル八王子
10月24日 (月)	9:50 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (武蔵国分寺・国分寺)	国分寺ターミナルビル9階
10月26日 (水)	10:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (府中・武蔵府中)	むさし府中商工会議所
10月26日 (水)	15:00 ~ 17:00	第四 回復支援地区委員会会議	三基商事東京支店第2ビル
10月27日 (木)		ガバナー公式訪問 (南・赤坂・麻布)	
10月27日 (木)	15:00 ~ 17:00	地区役員会 (10/12より変更)	ガバナー事務所
10月30日 (日)	12:00 ~ 16:00	渋谷・青山学院RAC 創立5周年記念式典	アイビーホール (青学会館)

11月 1日 (火)		ガバナー公式訪問 (多摩グリーン・多摩・稲城)	
11月 2日 (水)	17:00 ~ 20:30	山の手西G IM	ホテルニューオータニ
11月 4日 (金)	10:20 ~ 13:30	ガバナー公式訪問 (町田・町田サルビア)	ホテルザエルシィ町田
11月 4日 (金)	16:00 ~ 17:30	東京iシティRC 加盟認証状伝達式	府中の森 芸術劇場
11月 7日 (月)	14:00 ~ 16:10	東京銀座新RC 東日本震災復興チャリティー講演&コーラス	銀座プロッサム (中央会館)
11月 8日 (火)		ガバナー公式訪問 (町田・中 町田東)	
11月 9日 (水)		ガバナー公式訪問 (日野・飛火野)	
11月10日 (木)	16:00 ~ 19:00	千代田・銀座・日本橋G 合同IM	第一生命 新館6階ABC会議室
11月10日 (木)	18:00 ~	第3650地区大会 歓迎会	グランドハイアットソウル
11月11日 (金)	12:00 ~ 13:00	第3650地区大会 歓迎昼食会	グランドハイアットソウル
11月11日 (金)	13:00 ~ 18:00	第3650地区大会 本会議	グランドハイアットソウル
11月11日 (金)	18:00 ~	第3650地区大会 RI会長代理歓迎晩餐会	グランドハイアットソウル
11月12日 (土)	9:00 ~ 12:00	第3650地区大会 本会議	グランドハイアットソウル
11月12日 (土)	16:30 ~	東京品川中央RAC 創立40周年記念式典 17:30~懇親会	グランドプリンスホテル新高輪
11月14日 (月)	15:00 ~ 20:30	地区新会員セミナー・懇親会 (3年以下)	ハイアットリージェンシー東京
11月15日 (火)		ガバナー公式訪問 (八王子東・八王子・八王子北)	
11月17日 (木)		ガバナー公式訪問 (青山・目黒・城南)	
11月21日 (月)		地区役員会	ガバナー事務所
11月22日 (火)	15:00 ~ 17:00	第五回復支援地区委員会会議	三基商事東京支店第2ビル
11月23日 (水)		財団セミナー	
11月24日 (木)		RI会長歓迎晩餐会	
11月25日 (金)		ロータリー研究会	
11月26日 (土)		ロータリー研究会	
11月30日 (水)	午後	多摩東G IM	パルテノン多摩小ホール/京王プラザホテル多摩 (懇親会)

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。

千代田グループ 活動通信

東京みなとRC 活動方針

東京みなとRC 会長 高取 良雄



東京みなとRCは、今年で創立25周年という節目の年を迎えます。この間、バブル崩壊という大きな経済破綻を経験しましたがこの度の東日本震災ほど幾多の尊い人命、財産が奪われた出来事は先の戦争以来無かったことです。我々ロータリアンにとってこの災禍にどう立向かい、どう関わっていくかが正に問われており、会員の英知を結集し如何に奉仕活動に結びつけるかが区切りの年である本年度の最大の課題と考えております。

当ロータリークラブの今年度重点目標ですが、先ず第一は「東日本震災継続支援」です。効率的で継続的に心のこもった奉仕プロジェクトを実行するために「東日本震災復興委員会」を立ち上げました。次に長期計画の推進ですが、今年3月に作成した計画の推進と実行の年であります。更に具体的奉仕活動として注力するのは、港区立の小学生を対象とした「盲導犬とのふれあいの場」の提供継続です。又、本年度は会員増強が当クラブの喫緊の課題として浮上した為、拡大増強委員会を強化し、会員への呼びかけを真剣に取り組んでいかなければならないと思っております。

当ロータリークラブは、創立以来親睦を旨とするという良き雰囲気があります。私は「一人一奉仕」「親睦を通じて奉仕を」という大好きな言葉どおりこの伝統を守り続けたいと思っています。

東京レインボーRCの年度活動方針

東京レインボーRC 会長 渡辺 孝



東京レインボーRCは創立11周年を迎えました。東京副都心・臨海地区の初のロータリークラブとして会員47名でスタート、“明るく、楽しく、爽やかに”をテーマに、途中増減を見ましたが、会員数50名台を維持してまいりました。

2008年のリーマンショック以来、会員が減少傾向となり、この3月11日の東日本大震災でも少なからず減員が起ってしまいました。

本年度、我々は先ずは東日本大震災の被災者の方々へのあらゆる面での救援・奉仕活動を最優先として遂行してゆくべきであると考えます。そしてお台場のお台場学園との交流を、また同じお台場の東京国際交流館とは会員の国際塾講演や留学生(主に大学院生、研究者)との交流、東京新橋RCの“新潟県柿崎棚田支援”や“アンコールの子供達の識字率向上”プロジェクトへの協賛を継続していきます。会員の増強に努め、千代田グループ各ロータリークラブとの交流を通して皆様からご指導を頂き、我々ロータリークラブのこれからの10年、「The 2nd Decade」の基盤を確立して参ります。

気仙沼 小泉中学校

東京麻布RC 会長 辻 穂高

当クラブでは、東日本大震災の被災地である気仙沼の小泉地区(津波で壊滅的な被害を受け、住民の集団移転が促されている)にある小泉中学校の生徒(47名)のみなさんに対し、地元の気仙沼南RCとともに支援活動を行っております。

当初は、避難所で生活する被災者のみなさんへの支援を目的に活動をいたしましたが、避難所のある小泉中学校の体育館(校庭は仮設住宅の敷地に提供されており、単なる中学校というよりは地域の生活の場となっています。)で現場の声をお聞きし、校長先生の「災害で子供たちに学業を諦めさせたくない」という強いお気持ちに共感して、生徒のみなさんへの支援に絞って活動することになりました。

9月15日には気仙沼南RCのみなさんと生徒たちに辞書を贈呈に現地に参ります。10月のみなと祭りには小泉中学校の生徒たちからのメッセージなどの展示を予定、11月には東京に生徒たちがやってきます。生徒たちに少しでも大きな夢を持って育って行って欲しいと願っています。



山の手東グループ 活動通信

市民の誇りを取り戻す復興支援めざして ～徳川光圀（水戸黄門）墓所早期修復事業～

東京西南RC 東日本大震災支援委員会 副委員長 澤野 次郎



東日本大震災から半年が経過し、被災地ではガレキ除去や避難生活等の個別の応急的支援段階から、復興にむけてのシンボリック事業を必要とする段階になってきています。そうしたなかで、わがクラブでは被災地の水戸 徳川家15代当主 徳川斉正氏（所有者）及び大久保太一・茨城県常陸太田市市長よりの支援要請にもとづき、東日本大震災で倒壊した徳川光圀（水戸黄門）墓所（国指定史跡、常陸太田市）の早期修復事業の支援をすすめています。

大久保太一市長の要請文（8月26日付）によれば徳川光圀墓所は「歴史的に価値があるとともに、当市にとっては観光・産業に大きな役割を

果たしており、常陸太田市の歴史を語るうえではシンボリックなもの」であり、早期修復は「当市にとっても東日本大震災の復興のシンボルともなる重要な位置づけ」「元氣と活力を呼び戻し、地域の震災からの復興に大きな役割を果たす事業」であるとのことで、地元に強い期待があります。

わがクラブとしては4月に徳川斉正様からの被災状況説明、これを受けて6月に現地訪問（写真参照）、そして8月に徳川斉正様の卓話を実施し、第一次の支援金の贈呈を行い、支援活動を開始しています。

文化財早期修復への協力により、ロータリークラブの復興支援活動の功績を、形あるものとして末長く後世に、また地域に残せるものと考えています。この被災地復興支援事業にぜひ多くの皆様のご協力をよろしくお願いします。



「東日本大震災」クラブ復興支援活動について

東京広尾RC 会長 島田 さゆり



東京広尾RCでは、「東日本大震災」の復興支援活動について、この半年間、協議会等で検討をして参りました結果、当クラブ会員が継続的に行なっている「大学生及び新社会人を対象とした国際人育成活動」の中から、「日米復興市民対話プロジェクト — 東日本大震災から一年、日本の声を伝えよう」の活動の一部を主体的に行なう事といたしました。

これは、震災から1年を迎える2012年2月末から3月にかけて、東北の大学生（約10名）と東京・関東在住の大学生（約20名）の計約30名が訪米し、アメリカによる復興支援活動に感謝の意を表明すると共に、1年を経過した東北の姿や、被災者の生の声を伝え、訪問先で自然災害への危機管理対策や復興戦略を学び、討論を重ね、そこで得た事を今後将来にわたり、被災地復興活動に役立てようというプロジェクトです。

我がクラブはその中で、参加学生達が訪米前に、現地東北（福島を予定）で行う、震災・津波・原発等の被害から復興をするビジョンについての地元の人々との討論会（11月を予定）、及び東京で行なう事前報告討論会・シンポジウム（12月を予定）を主催いたします。東京のシンポジウムでは、講師やロータリアンの方々にご参加頂き、学生に対して意見やアドバイスを頂く機会を設けたいと考えています。また、海外のロータリークラブに呼びかけ、訪米した学生達が訪問先地域のロータリークラブの例会に出席し、発表や説明をする機会を得ることのアレンジを致します。

このプロジェクトは、今後長期に亘る復興活動の中で、将来的にはその中心を担っていく学生達に国際的視野のもと勉強し考える機会を与え、独自性や主体性、チャレンジ精神を養成する事、特に、被災地の大学生には、地元の復興と国際社会とのパイプ役として活躍する場や将来の夢・希望を与えることを目的としています。よって、私ども東京広尾RCは、バイリンガルクラブとしての特徴を生かし、且つ、新世代奉仕の一環として本プロジェクトを行う事にしました次第です。

この活動にご賛同いただけるクラブがございましたら、是非ともご一緒に参加をして頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

多摩南グループ 活動通信

理科大好き！小学生を育てたい

東京八王子RC 奉仕プロジェクト委員会 土屋 隆

小学校の理科の授業がつまらなくて、本来理科好きであった子供たちが理科への興味を失っているとしたら我が国の将来に深刻な問題です。当クラブでは2年前から理科好きな小学生を増やすため小学校の理科教育の質的向上を目的に、工学院大学理科教育センターと協力して「理科教育環境整備事業」を行っています。

熱心に理科教育スキルの向上に取り組む教師を選考し、その教師の所属する市立の小学校に各校30万円ほどの理科実験機材を寄贈するものです。すでに八王子市内の10校の小学校に顕微鏡など各校の希望する機器を寄贈し喜ばれています。

本年度も事業を継続しますが、3年目となるため、今までの事業の効果の検証を含めたまとめの年とする予定です。



本年度の重点事業

東京八王子西RC 広報委員長 宮澤 徳光

当クラブでは毎年の重点事業として、ここ数年浅川の水質検査、湧水巡り等科学的観点から環境を考える事業に取り組んできました。ところが、先般の東日本大震災を機に「ふるさと」を離れざるを得ない人々が沢山出ていることを鑑み、本年度は改めて「ふるさと」とは何か、を考える機会の必要性を感じ、この機会の提供を本年度の重点事とすることに致しました。

具体的には市内在住の小学生を対象に「ふるさと」を考えてもらう「私のふるさと八王子」～いまこそ感じてみよう、ふるさとのこと～と題する作文を募集し、優秀作品の表彰、記念品贈呈を行うことといたしました。子供たちが自由に「ふるさと」を観想し、文章に表現してもらうことで、「ふるさと八王子」を考えてもらうと共に、震災の被災地、被災者を想う心が育ってくれることを願って行うものです。

又八王子には留学生が多いことから表彰式の席上これら留学生(4名を予定)に「わたしのふるさと」と言う題で講演を行ってもらい、外国人のふるさと感にも触れてもらいたいと計画しています。

東日本大震災による震災孤児支援のチャリティーコンサート開催

東京町田・中RC 会長 鈴木 淳視

今期は東日本大震災関係の社会奉仕活動が活発であるが、当クラブも当期が開始する以前から役員理事会を開催してその準備を重ねてきた。活動開始後の7月5日の理事会で下記要領でクラシック及びジャズコンサートを開催することを決定した。写真は同ポスターである。奉仕活動は会員全員参加によるクラブの活性化に寄与しクラブの地域への貢献と広報でもあるとの考えである。

1. ① 名称及び支援趣旨：

「東日本大震災による震災孤児支援のクラシック&ジャズコンサート」

町田市と陸前高田市は同市長が町田市出身の関係から、日赤等を通じた一般的義援金としてではなく、町田市の協賛を得て、越前高田市を通じての直接震災孤児25名に対し義捐金を交付する支援活動とした。

② 日時：平成23年10月16日

③ 場所：町田市民ホール

④ コンサートの内容概要：

東京、国立、日本桐朋各大学のヴァイオリン独奏、フルート・重唱 中村誠一&ジャズクルー



PBG グループ 活動通信

パシフィックベイスングループ内の奉仕活動

PBGガバナー補佐 Cindy S. MORI (Rotary Club of Truk Lagoon)

パシフィックベイスングループ(PBG)は下記の8クラブから構成されています:

RC of Guam / RC of Guam Sunrise

RC of Tumon Bay / RC of Northern Guam

RC of Saipan / RC of Palau

RC of Pohnpei / RC of Truk Lagoon

私たちは一つのグループの所属となっていますが、グアム島の他、パラオ、サイパン、トラックラagoon、ポンペイの各島にクラブが存在します。

本年6月のPETSでは、2012年にバンコックで開催される国際大会にグループとして参加することが検討されることになりました。私たちが国際舞台でロータリーを体験できる絶好の機会であり、大会では私たちの島々が抱えているチャレンジ、その固有の文化や精神を紹介しながら、新しいパートナーシップを構築できるものと期待しています。

また、将来インターネットを通じての例会の開催の可能性についても検討されました。私たち固有の地理的条件からどうしても生じるコミュニケーションギャップを解消させるべく、研究チームが任命されました。

現時点では、いくつかのPBGプロジェクトが完了間近であり、それにはPBGにとって最大の事業である太陽光を利用した海水蒸溜プロジェクトが含まれます。このプロジェクトは大規模な人道支援の可能性を有することから地区プロジェクトに格上げされました。PBGの管轄内の離島の多くは珊瑚島であり、年間を通じて飲料水を雨水に依存しています。かなりの頻度でおとずれる乾期には島民は安定した飲料水の供給を絶たれることになり、これらの蒸溜用の器具は島の人々に、海水及び飲料に適さない水から、衛生的且つ安全な飲料水を常時供給することができます。これら器具の最終配布は2011年月中旬に完了しました。

PBGのクラブは会員増強を共通のゴールとしてい

ます。そもそも人口が少なく、各クラブでそれぞれに適した方法で勧誘活動が展開されています。中には家族会員を正会員にするクラブ、若い人々を中心に入会を奨励するクラブもあります。

クラブのレベルでは、それぞれが奉仕する地域にて、下記の分野、問題等に貢献しなくてはならないことを認識しています:

健康、教育、貧困の撲滅、文盲、青少年、高齢者、スポーツの促進

大半のクラブでは最低3つ分野での活動を目指していますが、大きなクラブでは全部に取り込むところもあります。

今年度のガバナー補佐として、私は前任者同様、PBG各クラブと2750地区の間の交流、コミュニケーションを促進します。私の任期は2750地区が東日本大震災による困難な時期に始まりました。しかし、PBGの私たち全員は、日本のクラブと友人たちの困難を理解し、心を一つにしています。既に、PBGのクラブは復興のための支援金を集め片倉ガバナーに贈呈しました。まだ困難な時期は続きますが、平常心を取り戻し、前進していかなくてはなりません。

PBGは”Group For One”による日本の姉妹クラブとの関係を維持して行きます。また、地区からの奨励もあることから、”Group For One”の枠組みを超えて、PBG地区に感心があり、共同プロジェクトを組めるパートナーとの連携も視野に入れたく思います。

私たちに与えられた限られた資源を、最大限、人道支援に活用することで、私たちは常に前進して参ります。現在の経済状況からすると容易なことではありません。草の根レベルでは多くの支援が必要とされていて、貧困、深刻な健康、社会問題は身近に存在しています。政府はこの現実と対応しなくてはなりません。私たちがロータリアンもいつでも準備ができてなくてはなりません。



会員基盤委員会

会員動向とグループ別会員増強委員長会議

会員基盤委員会 委員長 中島 康裕／会員増強・クラブ拡大委員会 委員長 石井 義興

冒頭に第2750地区全体の今年7月1日の国内会員数は4195名で前年7月1日と比較すると残念ながら105名の減少となりましたことをご報告します。1995年度末5854名以降この減少傾向は止まっていません。しかし山の手西、多摩東グループでは会員数は増加しています。その理由は東京米山友愛RC、東京iンティRCが一昨年、昨年度に創設されたからです。

クラブ拡大すなわち新クラブの創設は、会員減少を食い止めるためには非常に重要だと言う事が良く分ります。昨年度の地区会員委員長の新藤PDGは毎月ガバナー宛に各クラブから報告される出席・会員増強報告書式に退会者のクラブ在籍年数や退会理由を報告するよう書式を変更されました。ちょうど1年経ちその分析を行いました。

・退会者の在籍年数

①10年以上(43%) ②5～10年(17%) ③3～5年(15%) ④1～3年(19%)

この結果を見ると地区全体では長くロータリーにいた人が辞める、すなわち自然減とでも言うべき退会者が多く、明らかに組織として老化していることが分ります。

・退会理由

①職務繁忙(26%) ②その他(23%) ③健康上(19%) ④転勤(12%)
⑤死亡(11%) ⑥出席(4%) ⑥移転(4%) 期待に反した(0%)

退会理由の項目の中に経済的理由や人間関係での退会理由の項目がありませんので、この点は不明ですが、「その他」の所に一身上の理由、経済的理由、定年、不況、退職、家族の介護、などの理由が書かれております。この事から推察致しますと人間関係や経済的理由での退会もかなり有ると思われます。しかし、幸いなことに「期待に反した」は0でした。

退会理由を総合的に考えますと、「ロータリーは好きだが年を取ったので辞める」「入会したが仕事が忙しくて入ってられない」などと言う退会者像が浮かんでまいります。

次に、昨年度に続き実施中のグループ別会員増強委員長会議のお知らせです。この会議の目的は各クラブの会員増強委員長が現状をはっきり認識し、会員増強の目標を長期計画の中で立て、実行するための意見交換会です。

まず自クラブでは毎年平均的に何人が退会するのかの実数をはっきり把握し、それを少なくとも1～3名上回る新会員を向かえ入れる必要がある事を認識しなければなりません。そしてそれを基に計画を立て実行する必要があるのです。純増1名と言う目標は誤解されています。もし平均5名の退会者があるクラブなら7名の目標を立てて頂きたいのです。誰も辞めないとする前提で「1名増やす」と言うものではありません。地区の委員会では数年にわたりクラブ毎、グループ毎の実数を把握しております。



以上の数字に限らず、いろいろな統計数字を地区会員基盤委員会を出しておりますので、今回のグループ別会員増強委員長会議では、それらを基に各クラブの会員増強委員長と意見交換致します。写真は既に行われました多摩中グループの会議の様子です。

今年度のRI会長賞、チェンジメーカー賞、小規模クラブ会員増加の表彰、RI会員増強・拡大賞はみな会員増強に関係した賞です。特にRI会長賞、チェンジメーカー賞は受賞の前提に会員増強が行われたかどうかの視点が強調されております。つまりいくら多くの奉仕活動を行っても会員増強が十分で無ければそのクラブはこれらの賞を受ける事が出来ないのです。

最後に、地区の会員増強委員会では既にご案内申し上げておりますが新会員を推薦頂いた方々にスポンサーピンを差し上げます。ぜひ所定の書式でガバナー事務所あてご報告下さい。スポンサーピンをお送り致しますので、例会時に会長から直接ご本人に贈呈下さい。

奉仕プログラム委員会

職業奉仕とは

職業奉仕委員会 委員長 竹腰 昌明（東京調布RC）／インターンシップ委員会 委員長 三田 政博（東京世田谷南RC）

ロータリーは職業奉仕を基盤として発足したが、クラブ奉仕で培う仲間意識、社会のニーズのために奉仕する満足感、国際奉仕が世界平和に貢献するという期待に比し、職業奉仕は個人で行うのが普通であり、職業奉仕は忘れられた奉仕部門と呼ばれたこともあった。

ロータリーの初期の指導者は「己の欲するところを人に施せ」という黄金律をロータリーの職業奉仕の指針として引用していた。その後、従事している事業の規模にも拘わらず、1910年にアーサー・フレデリック・シュルドンが発表した「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という原則をもって運営しようと努力してきた。

シカゴ・ロータリー・クラブ会員のハーバート・テラーは、1932年に倒産の危機に瀕していた会社の経営を任された。テラーはロータリーの経験を基に、日々のあらゆる決定の基準となる24語の行動基準を作成した。この行動基準は4点からなるため、テラーは、これを「四つのテスト」と名づけた。

【四つのテスト】

言行はこれを照らしてから

1. 真実かどうか。
2. みんなに公平か。
3. 好意と友情を深めるか。
4. みんなのためになるかどうか。

RI 理事会は1943年に正式に四つのテストを採択した。このテストは100ヶ国以上に翻訳されており、会社の社是としていているところも多い。職業奉仕の倫理基準として採用された。

○ロータリアンの職業宣言

1989年規定審議会において採択された職業宣言を今年度RIが修正した。

- 1) すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観を模範を示すこと。
- 2) 職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと。
- 3) 高い倫理基準を奨励し、助長しながら個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。
- 4) 他者との取引のすべてにおいて公正に務め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。
- 5) 社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
- 6) 若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの

職業的才能を捧げること。

- 7) ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
- 8) 事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

○職業指導 — インターンシップ

産業の現場などで、生徒が在学中に自分の学習内容や進路などに関連した就業体験をすること。

- 1) 企業などの業務を体験できる。
- 2) 高校で学んだ知識や技術を実際場で発揮できる。
- 3) 企業などの求める資質や能力を理解できる。
- 4) 将来の目的意識や学習意欲、望ましい勤務観、職業観が身につく、自分のあり方、生き方を考える切っ掛けとなる。
- 5) 今年度の受け入れ校は次のようである。
 - ・都立八潮高校
 - ・都立芝商業高校
 - ・都立世田谷泉高校
 - ・都立荻窪高校
 - ・都立深沢高校
 - ・都立園芸高校
 - ・都立杉並工業高校
 - ・都立八王子北高校
 - ・都立第五商業高校

○職業奉仕月間(10月)

- 1) 地区レベルの行事でロータリー・ボランティアを表彰すること。
- 2) ロータリー親睦活動への参加を推進すること。
- 3) 職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱すること。
- 4) 空席の職業分類に会員を入会させる会員増強活動。
- 5) よろず相談 — ロータリアンの職種を生かした地域社会への無料相談会。

○今年度の方針

- 1) ロータリーの基盤となった「職業奉仕とは何か」を各クラブに卓話に参上したい。
- 2) 職業奉仕の実践がインターンシップであり、両委員会は一体として活動する。

米山記念奨学委員会

米山記念奨学委員会 活動通信

米山記念奨学委員会 委員長 松本 啓祐 (東京八王子RC)

不条理の演劇

数十年前、アルベール・カミュの戯曲「誤解」を読んだ。カミュは抵抗の演劇とっているようだが、結末の救いのなさは特別である。不条理劇にカタルシスを期待する方が無理なのだろう。カミュは言う。「これは誠実の倫理を含みうる。本当に理解してもらいたいなら、自分が何者であるかを率直にいうのだ」と。恐らくは、劇中の「海への憧れ」と相俟って、「率直への思い」が宿命への抵抗に繋がっていくのだろう。

相互理解と多様性

米山記念奨学会が目指しているのは、「国際間の理解と世界の平和」であり、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を支援することである。

カミュの提示した「抵抗」を「状況の打開」と読み替え、この奨学プログラムを考えてみる。学生、ロータリアン、大学関係者、地域社会の相互理解と協力がこのプログラムの成否を左右する、といえよう。カミュの言葉のように「自分が何者であるかを率直に表明」し、その上で個人と文化の多様性を認め合うことに尽きるだろう。協力と創造への出発点にまぎ立たねばならない。

地区米山記念奨学委員会の活動報告

前述の考え方を踏まえ、8月末まで展開してきた活動を以下の通り報告する

1. 地区協議会 米山分科会

2011.5.18 (水)ロイヤルパークホテル
ディスカッション方式による分科会 素朴な疑問から討論へと展開、活動改善の余地を探った。

2. 米山委員長セミナー

2011.7.27 (水)ヒルトン東京ホテル
学校スタイルからテーブルスタイルによる対話方式に変更。米山奨学事業の理解につとめるとともに、現状の問題点を考え、今後の方向性を相互に確認した。カウンセラー制度の重要性を再認識。クラブ・グループごとの寄付目標を設定した。担当は米山増進委員会。登録112名。

3. 夏の懇親会

8月27日(土)明治記念館
ロータリアン、学生、学友、支援者の懇親会。「車人形実演」により、外国人留学生が日本文化に触れる機会とも

なった。米山学友委員会が東京米山友愛ロータリークラブとともに企画実施。和やかな雰囲気の中に懇親を深めた。

参加者 102名(内奨学生16名、学友11名 ゲスト4名)

4. クラブでの卓話

奨学生、学友、地区委員によるクラブでの卓話を計画し実施中

5. 奨学生の選考準備

指定校の選定／大学への案内／選考準備会の開催。担当は米山選考委員会。

6. 寄付の状況 ()内は前年同期

7月～8月 16,592,080円 会員数4,195名 3,955円／一人

(16,893,030円 会員数4,301名 3,927円／一人)

100万円以上の寄付クラブ：東京日本橋RC、東京中央RC、東京銀座RC、東京芝RC

一人あたり寄付額1万円以上：東京八王子東RC、東京八王子南RC、東京芝RC

7. カウンセラーセミナーの準備

10月12日(水)に京王プラザホテルで開催のカウンセラーセミナーの企画と準備。担当は米山選考委員会。



委員会紹介

インターンシップ委員会 紹介



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

地域社会奉仕委員会 紹介

地域社会奉仕委員会 委員長 片木 瑠璃子 (東京青山RC)

各ロータリークラブでは、地域社会に根ざした社会奉仕活動が実施されています。片倉ガバナーは「その行動を先ず自らが始める」事を推奨され「奉仕に汗をかく」事を提唱されております。

今年度の地域社会奉仕委員会の役割は、福井衛奉仕プロジェクト委員長、福原有一社会奉仕委員長からのご指示による「クラブあつての地区」を基盤とし、地域のニーズを踏まえたより効果的な又、充実した活動が行われるよう側面からサポートする事と理解して居ります。又、クラブ間の合同奉仕プロジェクトの設立を推進し、継続奉仕活動への協力と支援を果たす事と思っております。

今年度は、第2750地区の各クラブへの地域社会奉仕レポートの発信です。より充実した奉仕活動を目指し、勢力的に活動されているクラブからの発信により各クラブの奉仕活動への啓蒙となる事を願っています。このレポートは、片面の地区親睦活動委員会のレポートとのジョイントプロジェクトとして勧める所存です。

次に東京武蔵府中RCをホスト・クラブとして「書き損じ葉書、使い残しの切手…」等の収集です。集計後ユニセフ等の団体への寄付は、1クラブのささやかな奉仕が複数のクラブとの合同により大きな成果を挙げることが期待できます。

又、目黒手をつなぐ親の会(知的障害者団体)のイベントに参加いたします。地域の行事活動に、職業を通して又、特技を通してロータリアンが参加しサポートをする事は地域の人々との交流の中で意義ある奉仕活動が出来る事と信じて居ります。

どうかよろしくお願いいたします。



委員会紹介

環境保全委員会 紹介

環境保全委員会 委員長 木村 眞（東京恵比寿RC）

環境保全委員会は、各クラブの地域社会が環境保全面で抱えるニーズを採り上げその活動を効果的にサポートする事を目的としています。

ご承知のとおり、高度成長の下に極度に発達した都市は、人々に多くの豊かさを齎した反面、環境安全面で多くの問題を露呈しました。これ等の問題に対して、当地区のロータリークラブ、又ロータリアンは、永年に亘り、地域社会に於いて、水対策の為雨水浸透枴設置の奨励、緑地帯拡充の為公園の植樹、景観改善の為地元の河川浄化、街路樹の清掃等の奉仕活動に従事してきました。

しかし、今般の東日本の大震災、そして福島原発事故により、私達の居住する大都市東京の動脈であるエネルギー供給源が破綻し、都市機能を停滞させ、市民の生活サイクルを狂わせる事となり、これを契機に、未来を展望した大都市のあり方、特に、人に優しい環境安全面を重視した災害に強い都市の改善が重要課題となりました。

そこで、片倉年度で当委員会は、持続可能な人に優しい「大都市環境安全改善」を提唱し、私達の生活空間を抜本的に変革させ世界に模範となる都市計画を提案していく所存です。それは、世界の大都市が抱える、汚染された空気の浄化、景観の改善と都市部の緑地化、高速道路撤去による騒音並びに排熱の解消、そして、ヒートアイランド現象の緩和によるエネルギーの節約、そして老朽化した危険な高速道路の撤去ないし地下化等に対する総合的な環境安全の究極的な解決策と考えるからです。

当委員会は、具体的には、従来の各クラブによる環境活動を踏まえた上で、各クラブ、ロータリアンに主に専門家等による卓話の斡旋、セミナーの開催等を通して、国内のみならず世界に「大都市環境安全改善」を発進していく事をサポートいたします。



国際人道奉仕支援委員会 紹介

国際人道奉仕支援委員会 委員長 小山田 安宏（東京高輪RC）

本委員会は、前年度まで活動していた世界社会奉仕委員会を改称したものである。国際ロータリーは、本年度より世界社会奉仕プログラムを漸次廃止する方針を打ち出した。しかし、これまで盛んに進められてきた国際間の人道奉仕プロジェクトは今後も広く実施されるため、今年度から、委員会の実質的活動を表す新しい名称に改めて活動することとなった。

本委員会は、地区内各ロータリークラブが、外国のロータリークラブと提携して、人道的プロジェクトを遂行するために必要な情報を提供し、プロジェクトが成功するよう助言を与えることが主たる任務である。そのため、次の事項について活動を行う。

1. 地区内ロータリークラブについて、また外国のロータリークラブについて、国際人道奉仕プロジェクトの実施を希望する意向に関する情報の収集及び提供
2. 国際人道奉仕プロジェクトが成功裡に実施されるよう各種資料・情報等の提供
3. 当地区の補助金委員会との情報交換により、必要とあれば国際人道奉仕プロジェクト実施のためのロータリー財団補助金制度の適用について、関係クラブに対する資料・情報等の提供。



（写真右から）委員長 小山田安宏（東京高輪）／副委員長 田邊 明彦（東京城西）
委員 高師 意子（東京マリーン）／委員 本田 誠（東京飛火野）

委員会紹介

国際友愛委員会 紹介

国際友愛委員会 委員長 西山 眞理子（東京青山RC）

1. 委員構成

委員長	西山 眞理子（東京青山RC）
副委員長	松尾 通（東京恵比寿RC）
委員	棚網 基己（東京成城新RC）
委員	浅見 省三（東京立川こぶしRC）
委員	渡邊 久敏（東京中央RC）
委員	時枝 紀子（東京中央新RC）
委員	近藤 禎夫（東京世田谷中央RC）
委員	濃畑 雄四郎（東京武蔵府中RC）

2. 委員会の役割

アジアの中でも日本と古くから関わりを持つ韓国、台湾、フィリピンとは、長い歴史の中で不幸な時代はあったものの、ロータリーという善意の精神的基盤の上に立ち、相互に努力と理解を進めながら、友好と親善を深めてまいりました。現在も、多岐にわたるプログラムを通じて奉仕の機会を広め活発に親交をはかっております。国際友愛委員会では今後も信頼と友情を深めつつ、事業を継承推進致します。

3. 今年度の活動と方針

- ・基本的には月1回委員会を開催し、継続的事業について、今後の活動についての話し合いを行う。
- ・各クラブへのアンケート調査を実施し、各国との親善交流の推進、希望があれば姉妹クラブ、友好クラブ締結をする為の協力を行う。
- ・諸行事への相互参加を呼びかけ、推進する。
- ・韓国、台湾、フィリピンとの友好関係を継続的に維持し発展させる。

4. 今年度の委員会関連行事と役割

- ・韓国ソウルの第3650地区とは、1989年に姉妹締結を行っ



て以来、相互の地区大会への訪問を繰り返し、理解と友好を深めて参りました。今年度も引き続き相互の参加を各クラブへ呼びかけ、友好の絆を深めます。また、1982年から創設されている日韓親善会議は今年で11回目を迎え、東京で開催されることが決定しておりましたが、震災の影響により、開催が次年度に延期されました。国際友愛委員会ではその為の準備をサポートします。

2011年11月11日(金) 12日(土)韓国第3650地区 地区大会

2012年 2月22日(水) 23日(木)日本第2750地区 地区大会

2012年8月31日(金) 9月1日(土)第11回日韓親善会議

- ・距離的にも心情的にも最も親しい日本と台湾との間で第1回日台親善会議が行われたのが2008年5月12日、その後、2年に1度開催が約束され、今年6月に第3回目が京都で開催される予定でしたが次年度に延期になりました。日台親善会議は現在第2580地区が中心に行っておりますが、第2750地区として出来る限りの参加を推進しサポートを致します。

2012年6月 日台親善会議(京都で開催)(日時は未定)

米山選考委員会 紹介

米山選考委員会 委員長 榎ヶ峠 俊彦（東京府中RC）

米山奨学事業の使命は将来日本と世界とを結ぶ懸け橋となつて、国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材の育成です。求められる優秀性は「学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「異文化理解」「コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

米山選考委員会ではこの使命に基づいた奨学生選考を実施しています。現在米山奨学事業では指定校推薦制度という方法で優秀な留学生の応募を受付けています。指定校推薦制度は、地区選考委員会が、地区に所在する大学、または隣接する地区に所在する大学の中から指定校を選定し、その指定校から米山奨学生としてふさわしい学生を推薦してもらう制度です。

では、どのような大学を指定しているのかと云いますと、私達の地区では次の4つを中心に指定校を選定しています。①海外からの留学生の数 ②米山奨学生としての実績 ③ロータリー、世界平和、国際貢献などに関心があるかどうか ④特色のある大学 こうした条件をもとに来年4月採用分の指定校を地区内20校、地区外3校、合計23校を決定致しました。これらの指定校に対し米山奨学

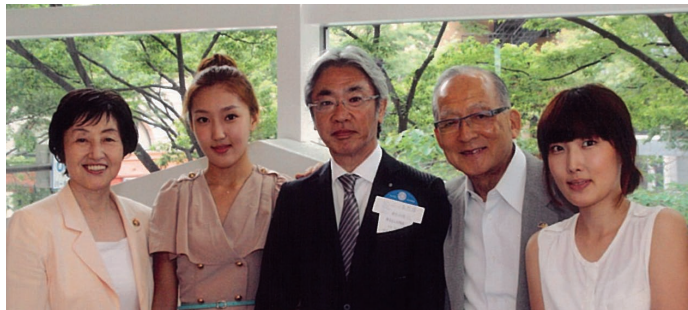
事業の説明会を開催し、私達が求める学生の応募をお願いしています。奨学生に各クラブで卓話を行ってもらう関係上、日本語が堪能であることも合格条件の一つとなります。又(財)ロータリー米山記念奨学会から経済的に豊かであるという理由のみから評価を下げることはしないで下さいと云う通達がきていますので、経済状況による評価は基本的に選考の対象とはしていません。指定校に対し複数の応募者がある場合には国籍を出来るだけ変えてもらうようお願いしています。今、在日留学生約14万人の約6割が中国籍留学生です。実情を反映して被推薦者の国籍割合が中国籍に偏る傾向があります。特に2010年4月採用から応募資格が拡大し、中国・韓国籍学部生3・4年目も応募が可能となりました。できるだけ、指定大学から幅広い国籍の留学生を推薦してもらうため「国籍は1ヶ国に偏らないように」と云うお願いもしています。米山奨学事業の特色は他の奨学金制度にはない「世話クラブ」「カウンセラー」と云う誇るべきシステムです。この奨学事業の醍醐味は「どんな奨学生に育てたか、育ってくれたか」です。今後も世話クラブ、カウンセラーの皆様には、奨学生を優しく、暖かくお育ていただきます様、心からお願い申し上げます。

委員会紹介

米山増進委員会 紹介

米山増進委員長 林 達夫（東京青山RC）

米山増進委員会と言うと、皆さんは寄付を集める委員会かと敬遠され嫌われがちな委員会ですが、私達委員会は、まず素晴らしい各国から来た米山奨学生を知って戴きたいと思っています。普段の委員会の活動は各クラブに奨学生・学友に卓話の機会を戴き、奨学生・学友と共に邪魔し、奨学生を紹介、奨学生や学友と直接お話をする機会を作ることを通じて米山記念奨学委員会へのご理解を戴き、結果として各クラブ会員からの寄付増進につなげていく事に重点を置き委員会活動をしています。片倉ガバナーは今年度の寄付目標を皆様もご承知の通り8,000万円としておりますので、会員一人当たりの寄付目標を20,000円とさせていただきました。年当初各クラブより普通寄付・特別寄付の目標額を提出戴きましたが、目標にはほど遠い5,760万円でございます。世界に類の無いこの素晴らしいプログラムを継続するには、皆さま方の暖かいご支援が必要不可欠で有ることは言うまでも有りません。是非、奨学生・学友をクラブへお呼び戴き直に接して戴き米山記念奨学事業へのご理解とご協力をお願いいたします。最後に、寄付はお一人いくらでも良いのです。米山月間にクラブ米山奨学委員会等が中心になりお一人10,000円の寄付をしているクラブもあります。会員の方々が日常的に行っているニコニコボックスのように、毎月奨学生がクラブを訪れるときに、今日のニコニコは米山にと指定し寄付をすることも可能なのです。宜しくお願いいたします。



米山学友委員会 紹介

米山学友委員会 委員長 辻 厚成（東京城西RC）

今年度、米山学友委員会を仰せつかりました東京城西RCの辻厚成です。日本のロータリークラブにおいて、歴史のある事業、日本独自の委員会。

他の奨学制度に例をみないロータリー独自のカウンセラー制度、そして奨学生、学友、ロータリアンを結ぶ、学友委員会の委員長を拝命したことを、大変嬉しく、名誉と思って居ります。歴史ある米山を少しでも伝承し、前進する事のお役にたちましたらと思って居ります。

さる8月恒例の夏の懇親会を開きました。場所は日本憲法の発祥の地、明治記念館、相生の間で開催しました。当日は、台風で天気も、あやぶまれた天候も、晴天に恵まれました。記念館の緑、美しい庭を愛でながら、東京米山友愛RCの石原愛理さんの日本語と仏語の挨拶と米国出身のジョン・ジョーンズさんの日本語と英語で幕が開き、片倉ガバナー御臨席のもと、東京八王子RCの西川小柳さんの演じる車人形、我々、日本人でも観る機会の少ない、八王子に伝わる江戸文化を囲み、話が弾み、和気あいあいと過ごしました。国際的な会場ムードの中、皆様、親しく過ごし、これを12月3日の冬の懇親会に結びつけたいと思います。



米山功労者ご紹介

ご協力を感謝いたします

米山功労者

佐藤 裕治君	東京芝	2011.8.4	1
田中 秀章君	東京芝	2011.8.4	2
野村 正道君	東京芝	2011.8.4	10
市川 伊三夫君	東京銀座	2011.8.4	11
永井 孝彦君	東京銀座	2011.8.4	6
佐竹 竜恵君	東京蒲田	2011.8.4	3
網野 公也君	東京成城	2011.8.10	1
森 和彦君	東京銀座	2011.8.11	5
石森 康夫君	東京八王子南	2011.8.12	1
尾曾 利夫君	東京田園調布	2011.8.22	9
市原 聖功君	東京立川	2011.8.23	2
菅沼 安嬉子君	東京銀座	2011.8.25	5
松方 七郎君	東京銀座	2011.8.25	1
吉本 喬美君	東京銀座	2011.8.25	8
鈴木 清文君	東京中央	2011.8.26	1
井上 征志君	東京井の頭	2011.8.30	1

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力を感謝いたします

◎ 岡田 直子君	東京築地	2011.8.5
◎ 早川 信義君	東京成城	2011.8.5
◎ 松生 俊和君	東京成城	2011.8.5
◎ 梶原 正統君	東京八王子南	2011.8.5
◎ 松村 聡君	東京八王子南	2011.8.5
◎ 溝口 勝巳君	東京八王子南	2011.8.5
◎ 森田 貢士君	東京八王子南	2011.8.5
◎ 清水 宣彦君	東京八王子南	2011.8.5
◎ 鈴木 丈史君	東京八王子南	2011.8.5
◎ 奥田 直智君	東京立川こぶし	2011.8.5
◎ 浜崎 幸夫君	東京多摩	2011.8.5
◎ 新井 熏信君	東京大井	2011.8.12
◎ 望月 政美君	東京大井	2011.8.12
◎ 菅沼 安嬉子君	東京銀座	2011.8.26
◎ 相川 和宏君	東京西	2011.8.26
◎ 安藤 直道君	東京西	2011.8.26
◎ 調子 達郎君	東京西	2011.8.26
◎ 大和田 弘君	東京西	2011.8.26
◎ 品川 博美君	東京西	2011.8.26
◎ 数原 英一郎君	東京西	2011.8.26
◎ 田中 宏明君	東京立川	2011.8.26

新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝いたします

寺沼 浩君	東京西	2011.8.26
-------	-----	-----------

文庫通信 (288号)

ロータリー
文庫

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信と新着文献より

◎「『現代社会とロータリー』ークラブと会員はどうあるべきか」
上野 操 2011 1p (D. 2580月信)

◎「ロータリーの綱領について」
川野正久 2011 2p (D. 2590月信)

◎「親睦と奉仕の調和」ロータリー思想の原点
織田吉郎 2011 1p (D. 2790月信)

◎「『利己と利他の調和』の哲学ー『東洋の実業倫理』」
亀井義弘 2011 2p (D. 2670月信)

◎「自他の関係と奉仕」
桑月 心 2011 1p (D. 2630月信)

◎「地域に合った、オリジナルで独創的な活動しよう」
『親睦活動月間を考える』
崎山武夫 2011 1p (D. 2610月信)

上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)

◎「わかりやすいロータリー 改訂 第4版」
2011 70p (D. 2650)

上記申込先：洲上勝夫 FAX(0779)87-2560

◎「奉仕の原則と保全の法則 (1929年出版)」
アーサーF シェルドン著 田中 毅訳 2011 103p

上記申込先：田中 毅 FAX(06)6491-9899

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館
午前10時～午後5時
休館
土・日・祝祭日

小林禮次郎 バスト・ガバナーを偲んで

バスト・ガバナーの小林禮次郎氏が、平成23年8月13日13時30分、満83歳で脳梗塞のため逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

小林禮次郎氏は1966年10月、東京日本橋RCに入会され、1997-98年度にクラブ会長、1999-00年度には第2750地区ガバナーを務められました。小林氏と私は同じ東京日本橋RCのメンバーであり、小林氏がひとつ年上でした。しかも共に新軽井沢ゴルフ倶楽部の仲間ということで、非常に親しくさせていただいておりました。

しかし、ガバナーとしては大先輩であり、地区ロータリー財団委員長、地区研修リーダーなどロータリアンとして豊富な経験をお持ちでした。

これからは、その経験を生かして様々なことをご指導いただき、指名委員など重要な役割もお願いしたいと考えておりましただけに、残念でなりません。

小林氏はお話がとても上手な方でした。わかりやすく楽しい語り口で、聞く人の心を瞬く間につかんでしまう話術は独特のものでした。あの、はにかむような笑顔をもう見る事ができないのは寂しい限りです。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

2011-12年度 ガバナー 片倉 章雄



小林 禮次郎 (東京日本橋RC)

2011年8月13日逝去 (享年83歳)

(株) コーセー 相談役

1966年10月7日入会

会員増強委員長・クラブ会報委員長・

社会奉仕委員長・米山財団委員長・

雑誌委員長・青少年奉仕委員長を歴任

1997-98年 クラブ 会長

1999-00年 RI 第2750地区 ガバナー

ポール・ハリス・フェロー/ベネファクター

米山功労者マルチプル (第3回)

米山特別功労法人

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



坂野 常和 (東京日本橋西RC)

2011年7月10日逝去 (享年91歳)

東京日本橋RC入会日 (1977年3月14日)

東京日本橋西RC移籍 (1987年4月15日～2011年7月10日)

ベネファクター

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者 (マルチプル10回)



井口 弘毅 (東京城西RC)

2011年9月7日逝去 (享年77歳)

1990年4月11日入会

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (8月分)★ District 2750 Membership Attendance Report AUGUST 2011

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			
				11年7月1日	11年8月末	増減					11年7月1日	11年8月末	増減	
千代田グループ	東 京 南	3	72.13	181	182	1	多摩南グループ	東 京 八 王 子	3	95.52	54	55	1	
	東 京 芝	4	90.89	92	93	1		東 京 町 田	3	75.79	54	56	2	
	東 京 新 橋	4	73.47	51	53	2		東 京 日 野	4	81.32	34	34	0	
	東 京 赤 坂	3	73.00	43	43	0		東 京 八 王 子 西	3	85.40	69	70	1	
	東 京 み な と	4	88.12	46	47	1		東 京 町 田 ・ 中	4	74.54	36	37	1	
	東 京 レ イ ン ボ ー	4	77.35	32	32	0		東 京 八 王 子 東	4	95.24	20	21	1	
銀座・日本橋グループ	東 京 麻 布	4	70.80	20	20	0	東 京 八 王 子 南	4	89.47	58	58	0		
	東 京 銀 座	4	79.50	157	159	2	東 京 町 田 サ ル ビ ア	3	80.00	22	22	0		
	東 京 日 本 橋	4	80.25	175	181	6	東 京 飛 火 野	4	80.35	28	28	0		
	東 京 築 地	4	80.54	69	69	0	東 京 町 田 東	3	73.33	25	26	1		
	東 京 日 本 橋 東	4	78.91	47	47	0	東 京 八 王 子 北	4	70.27	37	37	0		
	東 京 中 央	3	84.20	216	215	−1	東 京 立 川	3	93.75	98	99	1		
京浜グループ	東 京 日 本 橋 西	4	85.49	41	42	1	多摩中グループ	東 京 小 金 井	3	90.21	33	33	0	
	東 京 銀 座 新	3	78.26	68	69	1		東 京 国 分 寺	3	94.66	41	42	1	
	東 京 シ テ ィ 日 本 橋	2	82.55	47	47	0		東 京 三 鷹	4	86.50	37	37	0	
	東 京 中 央 新	4	62.50	40	39	−1		東 京 昭 島	3	84.40	46	49	3	
	東 京 羽 田	4	73.90	42	43	1		東 京 国 立	4	98.90	49	50	1	
	東 京 品 川	3	83.27	56	57	1		東 京 立 川 こ ぶ し	4	90.65	77	81	4	
山の手東グループ	東 京 大 森	3	96.82	46	46	0	多摩東グループ	東 京 井 の 頭	4	95.50	21	22	1	
	東 京 品 川 中 央	4	79.67	55	55	0		東 京 昭 島 中 央	3	75.00	41	43	2	
	東 京 大 井	5	72.22	18	18	0		東 京 武 蔵 国 分 寺	4	90.00	47	48	1	
	東 京 田 園 調 布	3	76.89	48	49	1		東 京 小 金 井 さ く ら	4	75.74	23	23	0	
	東 京 港 南	4	72.06	17	18	1		東 京 国 立 白 う め	4	85.85	22	23	1	
	東 京 大 崎	3	84.24	35	33	−2		東 京 府 中	3	74.84	60	60	0	
	東 京 蒲 田	4	91.46	62	62	0		東 京 調 布	4	87.50	60	60	0	
	東 京 京 浜	3	85.71	21	22	1		東 京 多 摩	4	82.70	25	26	1	
	東 京 田 園 調 布 緑	4	84.88	26	26	0		東 京 狛 江	3	85.93	29	29	0	
	東 京 マ リ ー ン	4	80.77	13	13	0		東 京 稲 城	3	81.33	27	27	0	
	東 京 白 金	3	85.90	25	26	1		東 京 武 蔵 府 中	2	74.07	53	53	0	
	東 京 高 輪	2	76.63	22	23	1		東 京 た ま が わ	4	78.80	25	25	0	
山の手西グループ	東 京 西	2	80.64	154	154	0	バシフィック・パシフィックグループ	東 京 多 摩 グ リ ー ン	4	77.88	34	34	0	
	東 京 城 西	4	64.81	73	73	0		東 京 調 布 む ら さ き	3	87.08	78	80	2	
	東 京 西 南	4	89.42	49	49	0		東 京 i シ テ ィ	3	81.30	25	25	0	
	東 京 原 宿	4	76.09	23	23	0		Guam	4	51.00	75	76	1	
	東 京 杉 並	3	74.44	39	39	0		Saipan	5	66.22	43	45	2	
	東 京 神 宮	4	71.42	28	28	0		Tumon Bay	5	48.14	86	86	0	
	東 京 恵 比 寿	4	87.20	90	93	3		Northern Guam	5	43.00	34	34	0	
	東 京 広 尾	2	74.99	18	18	0		Pohnpei	4	70.00	23	23	0	
	東 京 渋 谷	4	68.57	32	33	1		Palau	4	70.00	20	19	−1	
	東 京 六 本 木	3	74.00	50	52	2		Guam-Sunrise	5	43.00	30	31	1	
山の手西グループ	東 京 世 田 谷	4	81.16	57	57	0	国内84クラブ計	Truk Lagoon	5	33.00	11	12	1	
	東 京 目 黒	3	62.99	43	43	0								
	東 京 成 城	4	82.47	21	21	0	地区92クラブ計			4,195	4,256	61		
	東 京 世 田 谷 南	4	76.00	95	98	3				4,517	4,582	65		
	東 京 城 南	2	64.00	31	33	2								
	東 京 山 の 手	3	84.13	61	63	2								
	東 京 成 城 新	3	72.80	38	38	0								
	東 京 青 山	3	73.80	29	29	0								
	東 京 自 由 が 丘	3	81.34	19	20	1								
	東 京 世 田 谷 中 央	3	88.89	16	19	3								
	東 京 米 山 友 愛	3	82.00	30	31	1								
												平 均 出 席 率		78.39

編集後記

ガバナー公式訪問が最盛期で各クラブその準備などで多忙なことと思います。ガバナー月信・IT委員会においてもガバナー月信10月号より公式訪問の記事を順次Web上に掲載して参ります。速やかな寄稿のご協力をお願い致します。

未曾有の災害から半年が過ぎました。東日本大震災の被災地支援活動に力を注がれているクラブやロータリアンも多いかと思われます。活動報告などの記事により、一日も早い“復興”につながる情報が共有できればと思っています。

2011-12年度ガバナー月信・IT委員会 副委員長 竹平 時彦 (東京大森RC)

国際ロータリー第2750地区 2011-12年 ガバナー 片倉 章雄

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2011-12 Governor Akio Katakura

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 片倉 章雄(2011-12) © Akio Katakura 2011

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会 委員長 望月 耕次 副委員長 木村 清信 副委員長 河村 勝久 副委員長 竹平 時彦
Andrew WONG 田中 廣 山見 真弘 永田 有利恵 堀口 昇治 石黒 重徳 織田 ゆり子 羽田 伊助 森本 行俊 清野 修一
浅見 省三 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>